



© Tomoko Konoike  
撮影:永禮 賢

## 鴻池朋子

1960年秋田県生まれ。様々なメディアを用いて現代の神話をトータルインスタレーションで表現。おとぎ話研究、考古学、人類学などとプロジェクトを重ね芸術への問い直しを試みている。主な個展に2006年「第0章」大原美術館、2009年「インタートラベラー 神話と遊ぶ人」東京オペラシティアートギャラリー、霧島アートの森・鹿児島、2011年「獣の皮を被り 草の編み物」ギャラリーヒュンダイ（韓国）、2015年「根源的暴力」神奈川県民ホール（2016年 群馬県立近代美術館、新潟県立万代島美術館）他多数。主なグループ展に2008年「広州トリエンナーレ」（中国）、2010年「釜山ビエンナーレ」（韓国）、2016年「Nousぬう」金沢21世紀美術館、「Temporal Turn」スパンサー美術館・KU自然史博物館（アメリカ）他多数。2013年よりプロジェクト「物語るテーブルランナー」。2017年奥能登国際芸術祭、2018年 秋田県立近代美術館にて個展予定。著書に「どうぶつのことば」。2017年芸術選奨文部科学大臣賞を受賞。